



脈の測定にドキドキ

戸田市本町で戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)が運営する戸田中央看護専門学校(校長・中村毅戸田中央総合病院理事長)で8日、「わくわくドキドキ看護学校体験」が開催され、市内外の小中学生40人が参加した。

戸田中央看護専門学校

中学生は2人、ほかは小学生たち。小学生のうち2人が男子だった。子どもたちはまず、同校が用意した真っ白な白衣と帽子をかぶり、看護師になった気分を実感。

多田真理子副校長の歓迎のあ
看護師から脈の測り方を教わる子どもたち(左の2人) 戸田中央看護専門学校(同校の沢田隆憲さん撮影)

いさつを聞いた後、子どもたちは3グループに分かれ3種類の体験会場を巡った。

学校2階の基礎看護学実習室では検温や脈を測る看護の基礎を体験。同階のメディカル・シミュレーション・ルームでは、ナースコールを受けたたり、手の洗い方を教わった。6階の小児・母性看護学習室では、赤ちゃ

小中学生がナース体験

人形を使ったおむつ交換や、自分が妊婦になった感じを体験した。

学校体験は年に1回開催し、今年で5回目。同校の教員6人と有志参加の生徒たち約30人が子どもたちに寄り添って指導した。さいたま市中央区出身で同校3年の鬼木美桜さん(20)は「将来は看護師さんになってほしいという気持ちを込めて指導した。看護師の卵たちがいっぱいいました」と話した。

「みんなドキドキしながら楽しそう。上手にできた時の笑顔はとても印象的だった。看護師になる夢を忘れずに、ぜひ本校を受験してほしい」と多田副校長は期待を込めた。福岡栄一事務長(58)は「子どもたちが生き生きしていた。きっとこの中から本校に入学して看護師になる人が出てきます」と話した。